

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タチエス

コード番号 7239 URL <http://www.tachi-s.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田口 裕史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 野上 義之

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 042-546-8117

平成21年12月1日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	79,922	△39.9	873	△63.2	1,363	△61.6	375	△75.1
21年3月期第2四半期	132,928	—	2,374	—	3,547	—	1,510	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	12.10	—
21年3月期第2四半期	48.64	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	85,517	41,467	45.0	1,238.97
21年3月期	78,407	41,352	48.9	1,234.10

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 38,464百万円 21年3月期 38,313百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	5.00	11.00
22年3月期	—	6.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	11.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	168,000	△24.2	2,500	301.0	3,400	—	1,500	—	48.32

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 35,022,846株 21年3月期 35,022,846株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 3,977,467株 21年3月期 3,977,317株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 31,045,500株 21年3月期第2四半期 31,046,340株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社が現時点において合理的と判断した一定の前提に基づき算出したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、昨年秋からの深刻化した世界的な経済危機と景気後退に対する主要各国の経済対策や景気刺激策の効果もあり、一部地域で需要回復が見られるものの、雇用情勢の悪化や個人消費の低迷が続き全般的には依然として厳しい状況となりました。

当社グループの関連する自動車業界におきましては、国内ではエコカー減税や新車購入補助金制度によりカーメーカーの在庫調整は進展したものの、輸出の低迷は回復に至らず前年同期に対して生産は減少となりました。また、海外におきましても、各国政府による新車購入支援策の導入などが販売需要を刺激しましたが、生産は中国などアジアを中心に上向くなどの動きが見られるに留まりました。

このような経営環境のもと、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、自動車座席の売上高は、期初想定に比べ増加傾向に推移したものの、前年同四半期比では、日本及び北米地域を中心に大幅に減少したことから、売上高は799億2千2百万円と530億6百万円（39.9%）の減収となりました。

利益面につきましては、売上高減少による影響等により、営業利益8億7千3百万円（前年同四半期比63.2%減）、経常利益13億6千3百万円（前年同四半期比61.6%減）、四半期純利益3億7千5百万円（前年同四半期比75.1%減）と、いずれも前年同四半期に比べ減益となりましたが、事業基盤再構築の効果や徹底した費用削減努力により黒字を確保することが出来ました。

事業別セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①自動車座席事業等

国内及び北米を中心に自動車座席の販売が大幅に減少し、売上高は796億1千9百万円（前年同四半期比40.0%減）、営業利益は10億6千6百万円（前年同四半期比60.4%減）となりました。

## ②不動産関連事業

保有資産の有効活用と安定した収益の確保を目的に、当社において不動産賃貸事業を行っております。売上高は3億2百万円、営業利益は1億8千万円（前年同四半期比6.2%増）となりました。

地域別セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①日 本

不動産関連事業の業績は安定しているものの、自動車座席の販売が大幅に減少し、売上高は436億3千万円（前年同四半期比41.6%減）、営業利益は5億6千万円（前年同四半期比72.8%減）となりました。

## ②米 国

自動車需要低迷の影響を受け、売上高は177億1千3百万円（前年同四半期比36.1%減）となりました。営業利益につきましては、売上高減少の影響はあるものの、前年同四半期は新規受注車種の立上げ費用負担等もあったことから6億2百万円（前年同四半期比22.5%増）となりました。

## ③カ ナ ダ

自動車需要低迷の影響を受け、売上高は47億4千7百万円（前年同四半期比62.3%減）となりましたが、生産拠点再編の効果もあり、営業損失は1億6千3百万円と前年同四半期に比べ損失は減少しました。

## ④メキシコ

自動車需要低迷と為替変動の影響を受け、売上高は82億4千1百万円（前年同四半期比33.8%減）、営業損失は2千6百万円（前年同四半期は営業利益 3千1百万円）となりました。

## ⑤フランス

売上高は3億2千3百万円（前年同四半期比6.1%減）、営業損失は7百万円（前年同四半期の営業損失1千4百万円）となりました。

## ⑥中 国

売上高は52億6千5百万円（前年同四半期比2.8%増）となりましたが、販売製品構成の変動や日本向け縫製部品のグループ間販売減少等により、営業利益は2億7千6百万円（前年同四半期比56.9%減）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、855億1千7百万円と前連結会計年度末に比べ71億9百万円増加しております。これは主に、受取手形及び売掛金は増加しましたが、現先貸付金（流動資産その他）及び有形固定資産がそれぞれ減少したことによるものであります。

負債合計は、440億4千9百万円と前連結会計年度末に比べ69億9千4百万円増加しております。これは主に、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

純資産合計は、414億6千7百万円と前連結会計年度末に比べ1億1千5百万円増加しております。これは主に、配当金の支払はありましたが、評価・換算差額等の増加及び四半期純利益を計上したことによるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、国内におけるエコカー減税や新車購入補助金制度など、各国での景気刺激策の効果により自動車の需要は回復基調にあるものの、昨年秋のリーマン・ショック以前の需要水準には程遠く、自動車生産台数は引続き低調に推移するものと思われまます。

このような環境のもと、当社グループを取り巻く経営環境は依然として先行き不透明な厳しい状況が続くものと思われまますが、当社グループの自動車座席の売上高は、足もとでは期初の予想に比べ増加傾向に推移しており、最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年11月6日付で通期業績予想を修正しております。今後も引続き付加価値改善や合理化などの収益改善活動に全力で取り組み、更なる収益向上に取り組んでまいります。

なお、通期業績予想につきましては、為替レートを1米ドル=92円、メキシコペソ=7円、ユーロ=132.5円、中国人民元=13.7円を前提とし、以下のとおりであります。

項目	期別	通期見通し (平成22年3月期)	前期実績 (平成21年3月期)	対前期比 増減率
連結売上高		168,000	221,498	△24.2%
連結営業利益		2,500	623	301.0%
連結経常利益		3,400	△291	-
連結当期純利益		1,500	△3,704	-

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

## ② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定については、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

## ③ 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権と債務の相殺消去するにあたり、当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

また、連結会社相互間の取引を相殺消去するにあたり、取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,320	8,344
受取手形及び売掛金	29,846	18,782
有価証券	473	499
商品及び製品	1,555	1,478
仕掛品	315	331
原材料及び貯蔵品	3,468	4,089
その他	2,085	4,083
貸倒引当金	—	△13
流動資産合計	46,066	37,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,049	10,518
機械装置及び運搬具(純額)	7,438	8,214
その他(純額)	7,078	7,254
有形固定資産合計	24,566	25,988
無形固定資産	1,051	1,145
投資その他の資産		
投資有価証券	11,028	10,124
その他	2,872	3,623
貸倒引当金	△67	△69
投資その他の資産合計	13,832	13,678
固定資産合計	39,450	40,811
資産合計	85,517	78,407

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,953	20,190
短期借入金	4,244	4,086
未払法人税等	233	267
その他	5,882	6,272
流動負債合計	38,314	30,817
固定負債		
長期借入金	541	687
退職給付引当金	1,652	1,559
役員退職慰労引当金	257	399
負ののれん	5	7
その他	3,277	3,583
固定負債合計	5,734	6,237
負債合計	44,049	37,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,145	8,145
資本剰余金	7,698	7,698
利益剰余金	28,064	28,018
自己株式	△3,572	△3,572
株主資本合計	40,336	40,291
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	740	△86
為替換算調整勘定	△2,612	△1,891
評価・換算差額等合計	△1,872	△1,977
少数株主持分	3,003	3,039
純資産合計	41,467	41,352
負債純資産合計	85,517	78,407

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	132,928	79,922
売上原価	124,614	74,257
売上総利益	8,314	5,664
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	1,404	1,007
その他	4,535	3,783
販売費及び一般管理費合計	5,940	4,790
営業利益	2,374	873
営業外収益		
受取利息	74	28
受取配当金	95	54
負ののれん償却額	1	1
持分法による投資利益	957	46
為替差益	—	261
雑収入	177	196
営業外収益合計	1,306	589
営業外費用		
支払利息	109	91
雑支出	23	7
営業外費用合計	132	99
経常利益	3,547	1,363
特別利益		
固定資産売却益	5	71
貸倒引当金戻入額	3	16
特別利益合計	8	87
特別損失		
固定資産処分損	116	37
事業再編損	—	336
投資有価証券評価損	642	—
ゴルフ会員権評価損	—	0
特別損失合計	758	374
税金等調整前四半期純利益	2,797	1,077
法人税、住民税及び事業税	879	394
法人税等調整額	254	59
法人税等合計	1,133	454
少数株主利益	153	246
四半期純利益	1,510	375

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,797	1,077
減価償却費	2,550	1,789
負ののれん償却額	△1	△1
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△15
受取利息及び受取配当金	△169	△83
支払利息	109	91
持分法による投資損益(△は益)	△957	△46
固定資産処分損益(△は益)	111	△34
投資有価証券評価損益(△は益)	642	—
売上債権の増減額(△は増加)	△2,969	△10,889
たな卸資産の増減額(△は増加)	△258	588
仕入債務の増減額(△は減少)	△371	7,986
その他	△888	△314
小計	590	148
利息及び配当金の受取額	945	291
利息の支払額	△78	△55
法人税等の還付額	—	296
法人税等の支払額	△1,427	△324
営業活動によるキャッシュ・フロー	30	356
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の純増減額(△は増加)	0	△1
有形固定資産の取得による支出	△2,459	△340
有形固定資産の売却による収入	6	61
投資有価証券の取得による支出	△17	△10
子会社出資金の取得による支出	△542	—
その他	826	△619
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,185	△910
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△528	184
長期借入金の返済による支出	—	△94
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△2	△0
少数株主への配当金の支払額	△262	△368
配当金の支払額	△154	△155
その他	33	△168
財務活動によるキャッシュ・フロー	△913	△602
現金及び現金同等物に係る換算差額	227	△365
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,841	△1,522
現金及び現金同等物の期首残高	11,502	9,941
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,660	8,419

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日) (単位:百万円)

	自動車座席事業等	不動産関連事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	132,626	302	132,928	-	132,928
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	132,626	302	132,928	-	132,928
営業利益	2,692	169	2,862	(487)	2,374

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日) (単位:百万円)

	自動車座席事業等	不動産関連事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	79,619	302	79,922	-	79,922
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	79,619	302	79,922	-	79,922
営業利益	1,066	180	1,247	(373)	873

(注) 1 事業区分の方法

自動車等の座席及び関連製品の製造・販売に関する事業と、これと全く性質を異にする不動産賃貸に関する事業とに区分しております。

2 各事業の主な製品等

- ①自動車座席事業等…自動車座席・部品の製造・販売及び開発支援、その他製品の製造・販売他
- ②不動産関連事業…不動産賃貸事業

(所在地別セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日) (単位:百万円)

	日本	米国	カナダ	メキシコ	フランス	中国	計	消去又は全社	連結
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	74,705	27,732	12,584	12,440	344	5,121	132,928	-	132,928
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,419	828	20	714	5	1,437	5,425	(5,425)	-
計	77,125	28,560	12,604	13,154	349	6,559	138,354	(5,425)	132,928
営業利益又は営業損失(△)	2,060	492	△350	31	△14	640	2,859	(484)	2,374

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日) (単位:百万円)

	日本	米国	カナダ	メキシコ	フランス	中国	計	消去又は全社	連結
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	43,630	17,713	4,747	8,241	323	5,265	79,922	-	79,922
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,418	132	0	446	0	646	2,645	(2,645)	-
計	45,048	17,845	4,747	8,687	324	5,912	82,567	(2,645)	79,922
営業利益又は営業損失(△)	560	602	△163	△26	△7	276	1,242	(369)	873

(注) 国別により区分しております。

(海外売上高)

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日) (単位:百万円)

	米 国	カ ナ ダ	メ キ シ コ	そ の 他	計
I 海外売上高	27,818	12,588	12,350	5,843	58,600
II 連結売上高	-	-	-	-	132,928
III 海外売上高の連結 売上高に占める割合	20.9%	9.5%	9.3%	4.4%	44.1%

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日) (単位:百万円)

	米 国	カ ナ ダ	メ キ シ コ	そ の 他	計
I 海外売上高	18,169	4,313	8,218	6,206	36,908
II 連結売上高	-	-	-	-	79,922
III 海外売上高の連結 売上高に占める割合	22.7%	5.4%	10.3%	7.8%	46.2%

(注) 1 国別に区分しております。

2 その他に属する国の内訳は、中国・英国・タイ・マレーシア等であります。

3 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。